

【消防団についてのアンケート】

調査期間 R6.8.1 ~ R6.8.14
回答率 79.3% 回答者数 353人

アンケートの趣旨

消防団は、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される非常備の消防機関です。その構成員である消防団員は、本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、消防職員と共に消火活動や防災活動を行うなど、「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神のもと、住民の安全と安心のために活動しています。

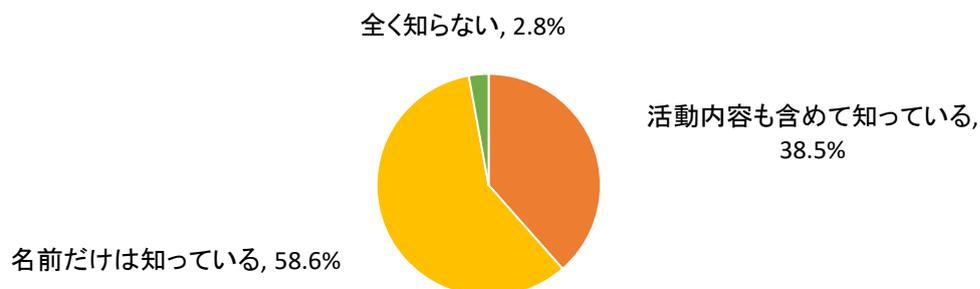
今年1月に発生した能登半島地震においても、地元を熟知した消防団員が、住民の避難誘導や救助活動などの役割を果たしており、今後発生するといわれている南海トラフ地震においても、「共助」を担う消防団の存在は大変重要な存在です。

近年、消防団員数は少子高齢化や就業形態の変化などに伴い、減少傾向にあります。地域防災力の確保のためにも団員確保は喫緊の課題であることから、県民の皆さまの消防団に対する認知度やイメージをお伺いし、今後の施策検討に活かすことを目的としてアンケートを実施いたします。皆さまの御協力をお願いします。

危機管理総局危機管理課

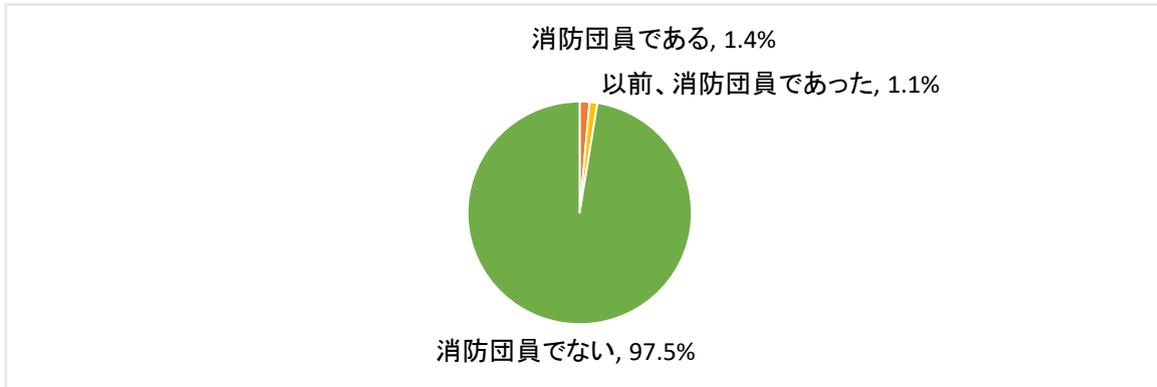
〔問1〕 あなたは、消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
活動内容も含めて知っている	136	38.5%
名前だけは知っている	207	58.6%
全く知らない	10	2.8%
計	353	100.0%



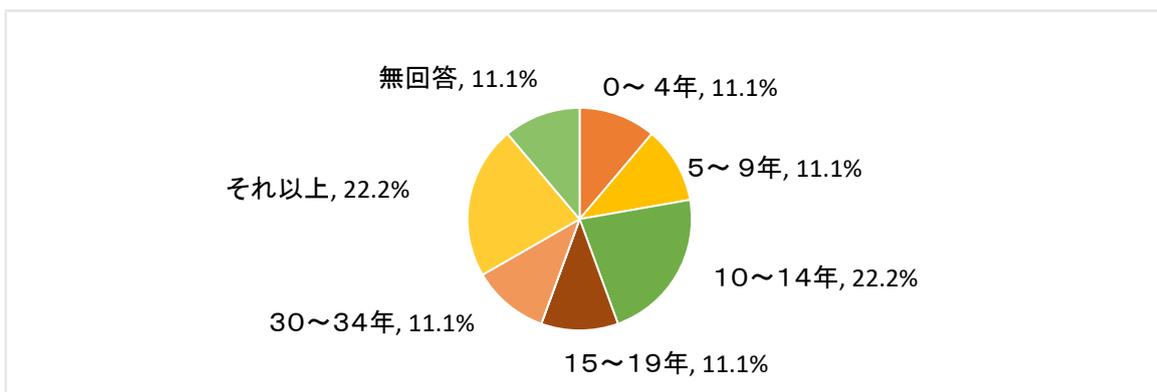
〔問2〕 あなたは、消防団員ですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
消防団員である	5	1.4%
以前、消防団員であった	4	1.1%
消防団員でない	344	97.5%
計	353	100.0%



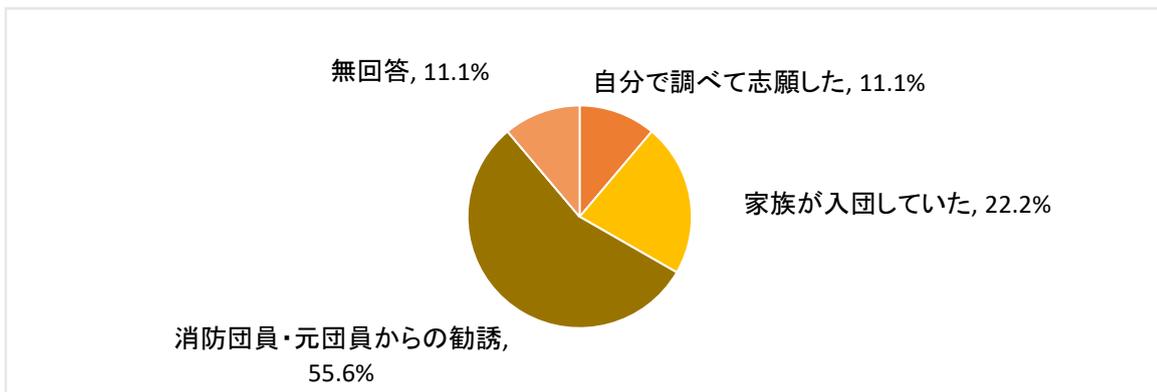
〔問3〕 〔問2〕において『消防団員である』『以前、消防団員であった』と回答された方へお聞きします。
あなたの消防団員歴は次のうちどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
0～4年	1	11.1%
5～9年	1	11.1%
10～14年	2	22.2%
15～19年	1	11.1%
20～24年	0	0.0%
25～29年	0	0.0%
30～34年	1	11.1%
それ以上	2	22.2%
無回答	1	11.1%
計	9	100.0%



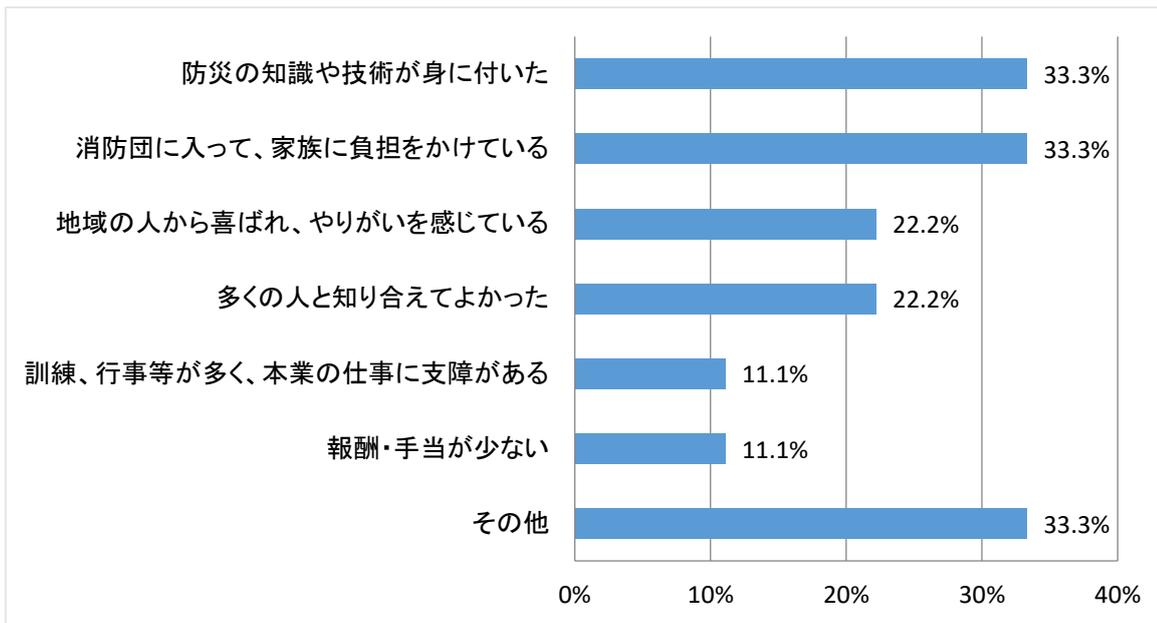
〔問4〕 〔問2〕において『消防団員である』『以前、消防団員であった』と回答された方へお聞きします。
 あなたが消防団に入団した動機について、次の中からもっとも当てはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
自分で調べて志願した	1	11.1%
家族が入団していた	2	22.2%
勤務先・学校で勧められた	0	0.0%
町会で勧められた	0	0.0%
消防団員・元団員からの勧誘	5	55.6%
その他	0	0.0%
無回答	1	11.1%
計	9	100.0%



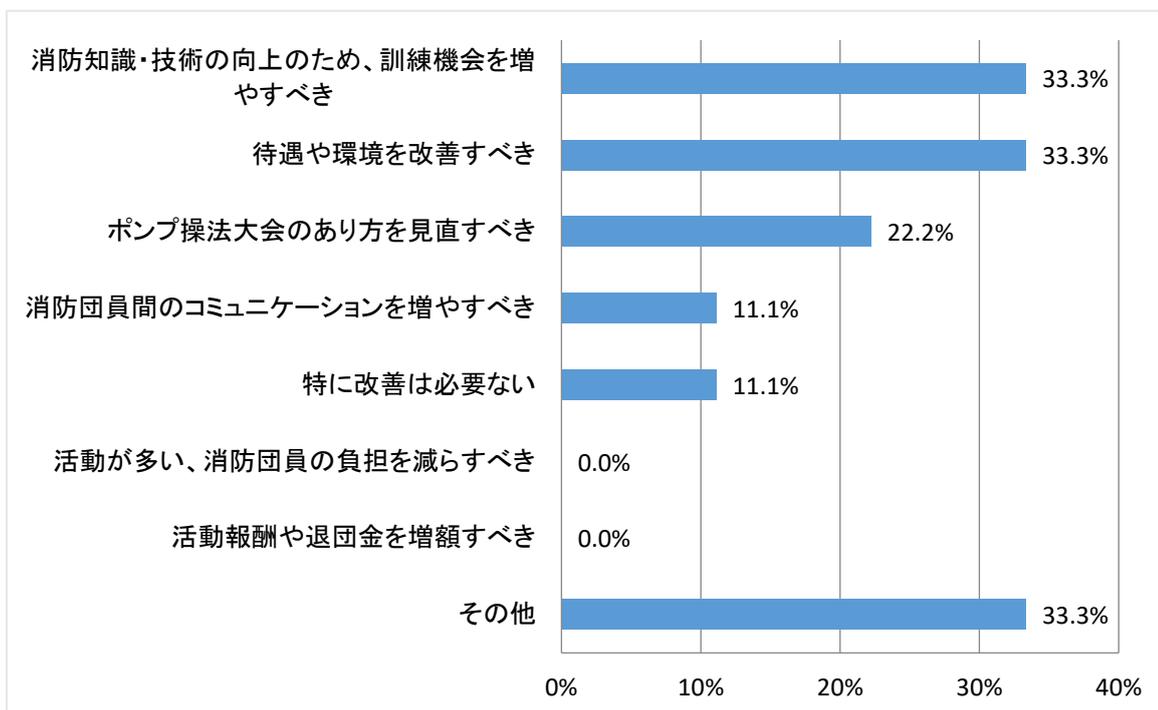
〔問5〕 〔問2〕において『消防団員である』『以前、消防団員であった』と回答された方へお聞きします。
 消防団に入団してあなたはどのような感想をお持ちですか。当てはまるものを2つまで選んでください。

		回答者数	9
選択肢	回答者数	構成比	
防災の知識や技術が身に付いた	3	33.3%	
消防団に入って、家族に負担をかけている	3	33.3%	
地域の人から喜ばれ、やりがいを感じている	2	22.2%	
多くの人と知り合えてよかった	2	22.2%	
訓練、行事等が多く、本業の仕事に支障がある	1	11.1%	
報酬・手当が少ない	1	11.1%	
その他	3	33.3%	



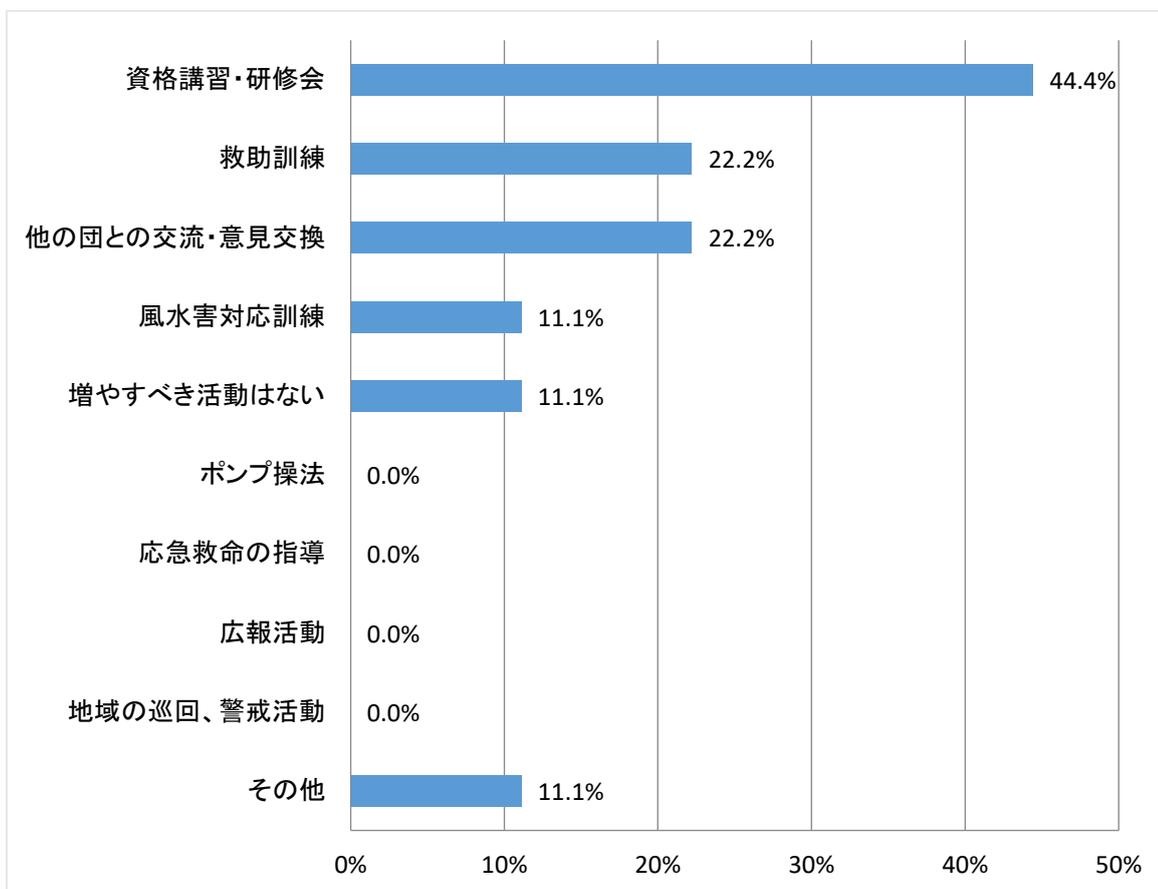
〔問6〕 〔問2〕において『消防団員である』『以前、消防団員であった』と回答された方へお聞きします。
より長く活動できるために、どのような事が必要だと感じますか。当てはまるものを2つまで選んでください。

		回答者数	9
選択肢	回答者数	構成比	
消防知識・技術の向上のため、訓練機会を増やすべき	3	33.3%	
待遇や環境を改善すべき	3	33.3%	
ポンプ操法大会のあり方を見直すべき	2	22.2%	
消防団員間のコミュニケーションを増やすべき	1	11.1%	
特に改善は必要ない	1	11.1%	
活動が多い、消防団員の負担を減らすべき	0	0.0%	
活動報酬や退団金を増額すべき	0	0.0%	
その他	3	33.3%	



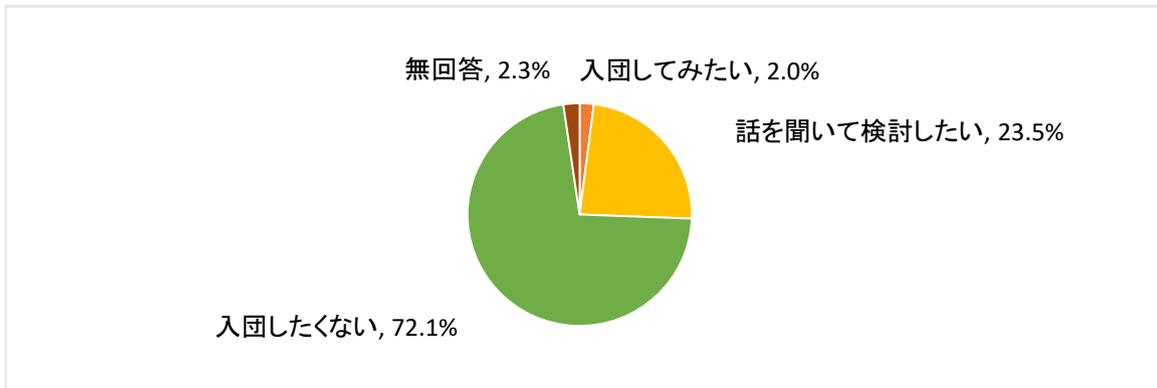
〔問7〕 〔問2〕において『消防団員である』『以前、消防団員であった』と回答された方へお聞きします。
活動について、増やした方がよいと感じる活動はありますか。当てはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
資格講習・研修会	4	44.4%
救助訓練	2	22.2%
他の団との交流・意見交換	2	22.2%
風水害対応訓練	1	11.1%
増やすべき活動はない	1	11.1%
ポンプ操法	0	0.0%
応急救命の指導	0	0.0%
広報活動	0	0.0%
地域の巡回、警戒活動	0	0.0%
その他	1	11.1%



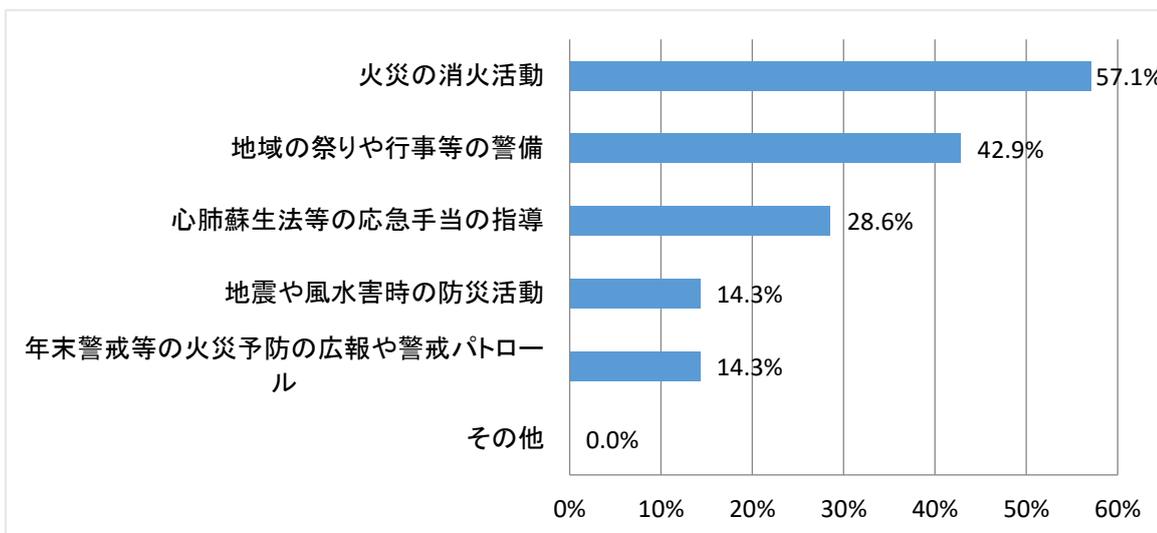
〔問8〕 〔問2〕において『消防団員でない』と回答された方へお聞きします。あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
入団してみたい	7	2.0%
話を聞いて検討したい	81	23.5%
入団したくない	248	72.1%
無回答	8	2.3%
計	344	100.0%



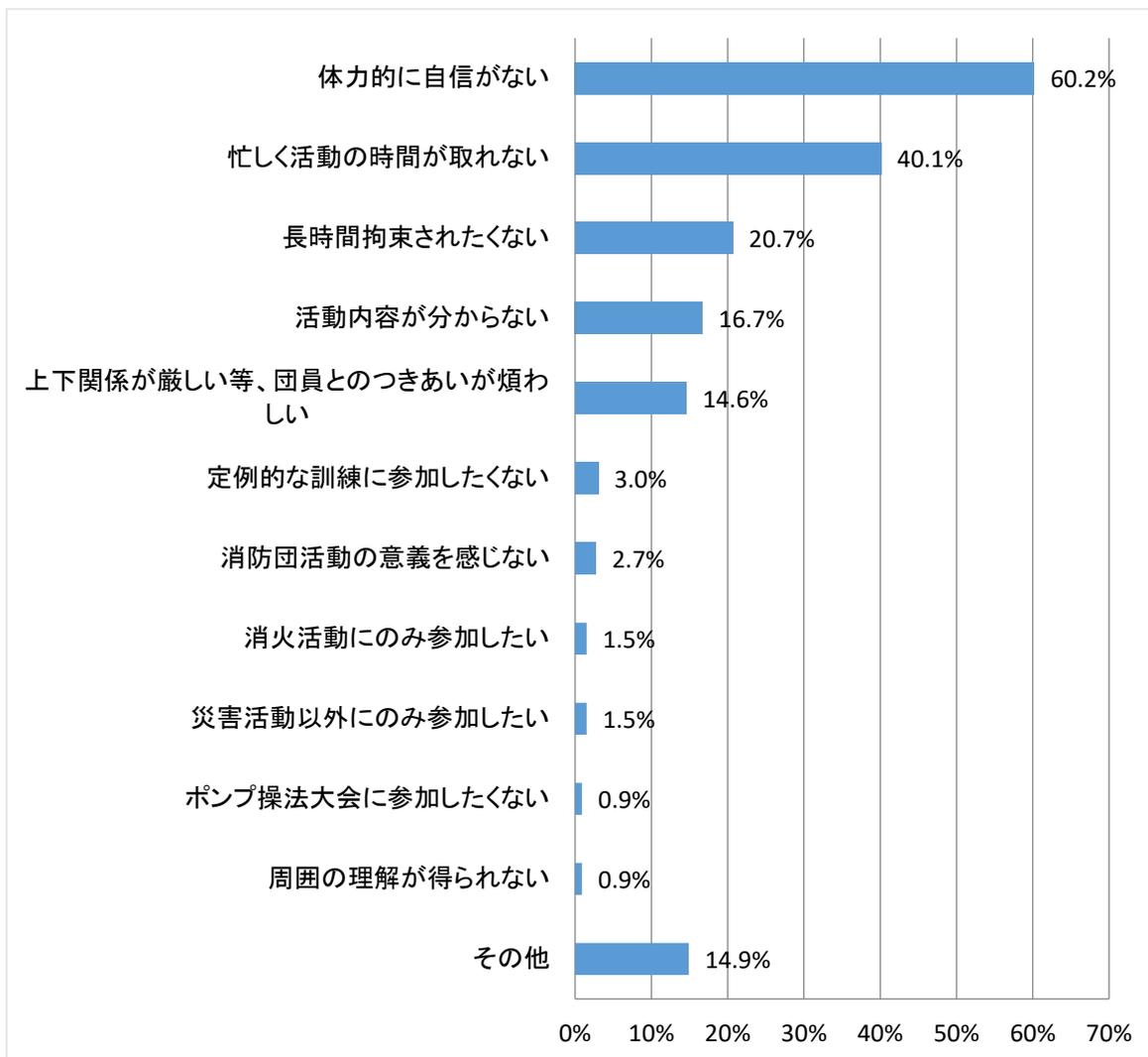
〔問9〕 〔問8〕で『入団してみたい』と回答された方にお聞きします。どのような活動を行いたいですか。当てはまるもの2つまで選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
火災の消火活動	4	57.1%
地域の祭りや行事等の警備	3	42.9%
心肺蘇生法等の応急手当の指導	2	28.6%
地震や風水害時の防災活動	1	14.3%
年末警戒等の火災予防の広報や警戒パトロール	1	14.3%
その他	0	0.0%



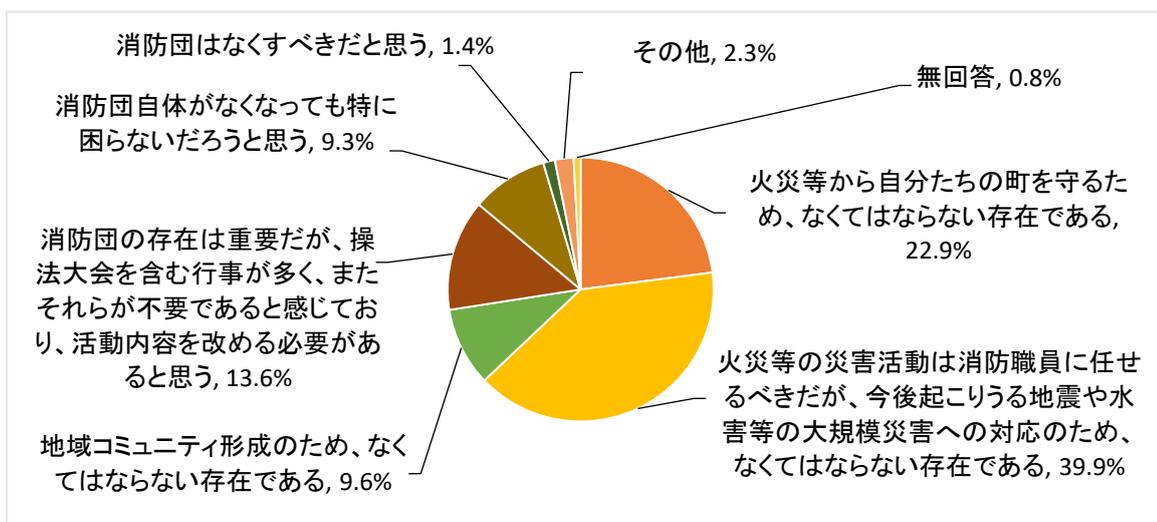
〔問10〕 〔問8〕で『話を聞いて検討したい』、『入団したくない』と回答された方にお聞きします。
 あなたが入団を躊躇する理由は何ですか。当てはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 329	
	回答者数	構成比
体力的に自信がない	198	60.2%
忙しく活動の時間が取れない	132	40.1%
長時間拘束されたくない	68	20.7%
活動内容が分からない	55	16.7%
上下関係が厳しい等、団員とのつきあいが煩わしい	48	14.6%
定例的な訓練に参加したくない	10	3.0%
消防団活動の意義を感じない	9	2.7%
消火活動にのみ参加したい	5	1.5%
災害活動以外にのみ参加したい	5	1.5%
ポンプ操法大会に参加したくない	3	0.9%
周囲の理解が得られない	3	0.9%
その他	49	14.9%



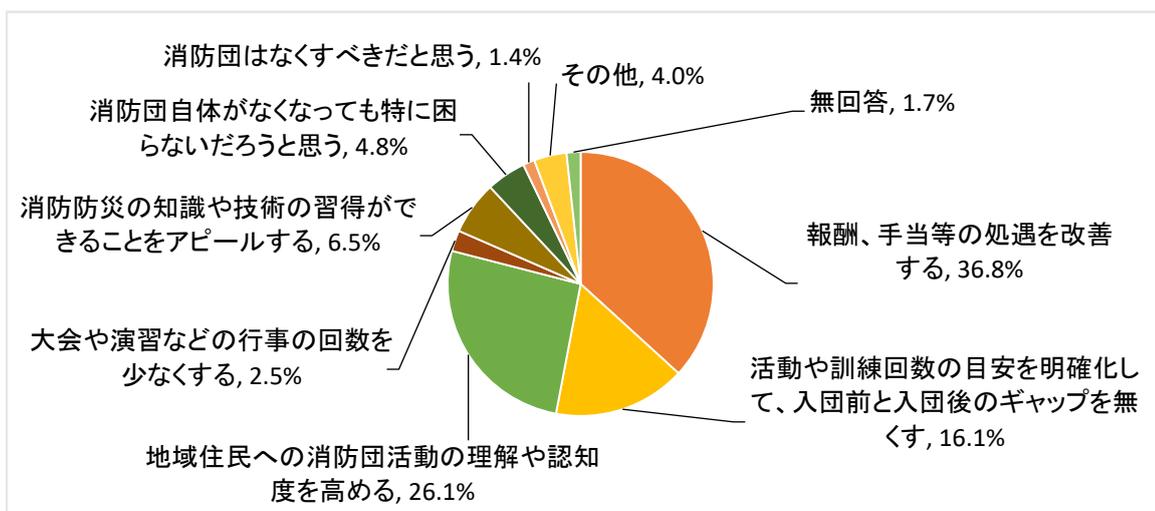
〔問12〕 あなたは、消防団に対してどのようなイメージを持っていますか。次の中からもっとも当てはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
火災等から自分たちの町を守るため、なくてはならない存在である	81	22.9%
火災等の災害活動は消防職員に任せるべきだが、今後起こりうる地震や水害等の大規模災害への対応のため、なくてはならない存在である	141	39.9%
地域コミュニティ形成のため、なくてはならない存在である	34	9.6%
消防団の存在は重要だが、操法大会を含む行事が多く、またそれらが不要であると感じており、活動内容を改める必要があると思う	48	13.6%
消防団自体がなくなっても特に困らないだろうと思う	33	9.3%
消防団はなくすべきだと思う	5	1.4%
その他	8	2.3%
無回答	3	0.8%
計	353	100.0%



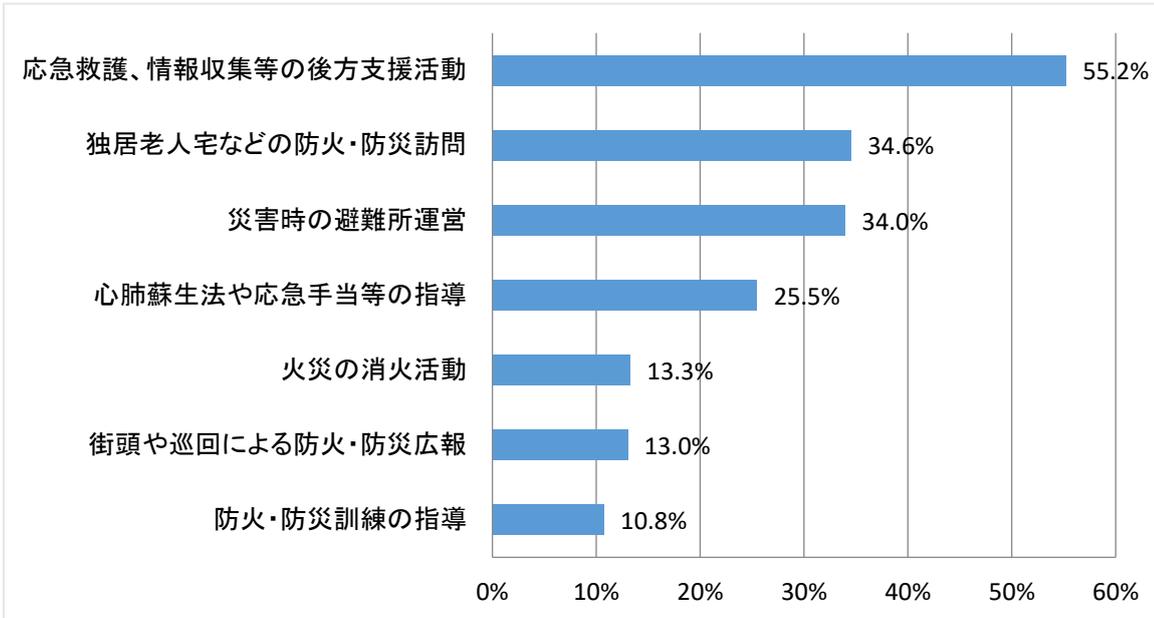
〔問13〕 どのような取組みをしたら消防団に入団する人が増えると思いますか 次の中からもっとも当てはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
報酬、手当等の処遇を改善する	130	36.8%
活動や訓練回数の目安を明確化して、入団前と入団後のギャップを無くす	57	16.1%
地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める	92	26.1%
大会や演習などの行事の回数を少なくする	9	2.5%
消防防災の知識や技術の習得ができることをアピールする	23	6.5%
消防団自体がなくなっても特に困らないだろうと思う	17	4.8%
消防団はなくすべきだと思う	5	1.4%
その他	14	4.0%
無回答	6	1.7%
計	353	100.0%



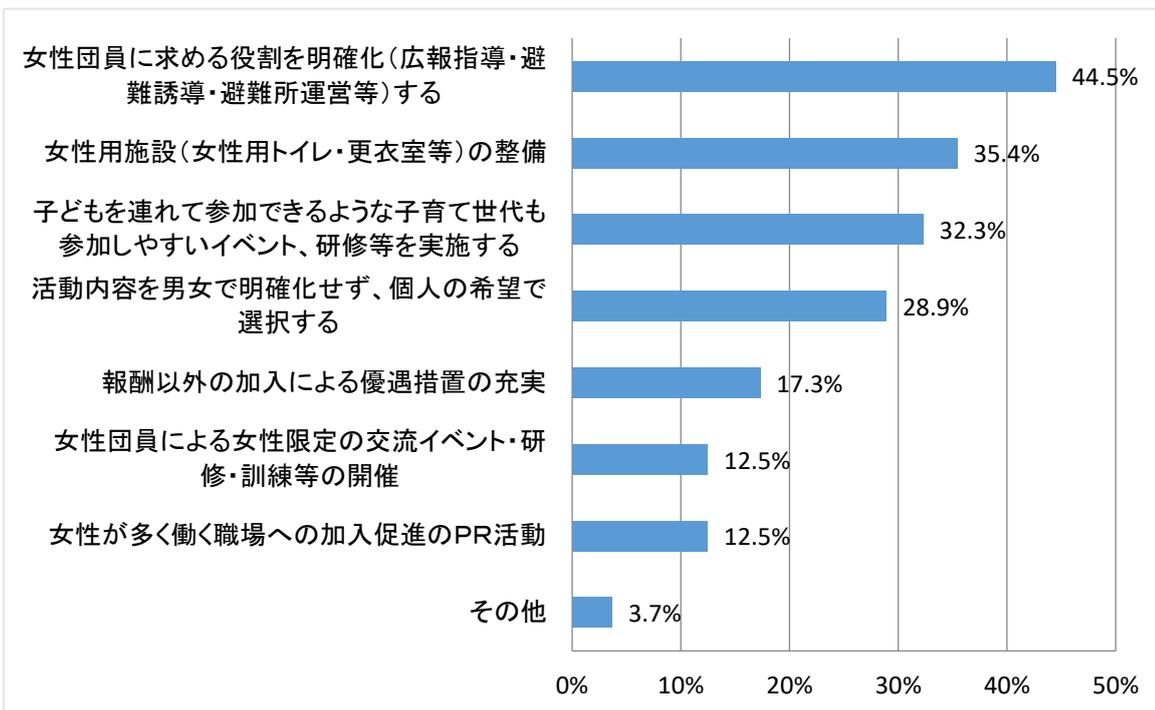
〔問14〕 香川県では現在200名以上の女性消防団員が活躍しています。あなたは女性消防団員にどのような活動を期待しますか。当てはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 353	
	回答者数	構成比
応急救護、情報収集等の後方支援活動	195	55.2%
独居老人宅などの防火・防災訪問	122	34.6%
災害時の避難所運営	120	34.0%
心肺蘇生法や応急手当等の指導	90	25.5%
火災の消火活動	47	13.3%
街頭や巡回による防火・防災広報	46	13.0%
防火・防災訓練の指導	38	10.8%



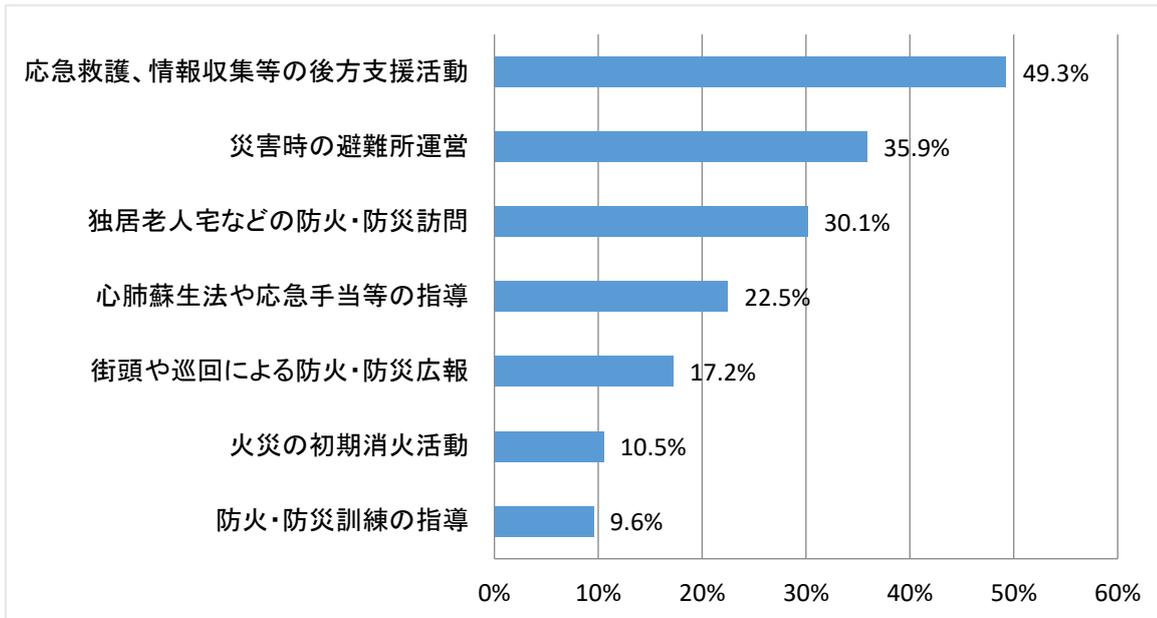
〔問15〕 女性消防団員の加入促進のためにどのような取組みが効果的だと思いますか。当てはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 353	
	回答者数	構成比
女性団員に求める役割を明確化(広報指導・避難誘導・避難所運営等)する	157	44.5%
女性用施設(女性用トイレ・更衣室等)の整備	125	35.4%
子どもを連れて参加できるような子育て世代も参加しやすいイベント、研修等を実施する	114	32.3%
活動内容を男女で明確化せず、個人の希望で選択する	102	28.9%
報酬以外の加入による優遇措置の充実	61	17.3%
女性団員による女性限定の交流イベント・研修・訓練等の開催	44	12.5%
女性が多く働く職場への加入促進のPR活動	44	12.5%
その他	13	3.7%



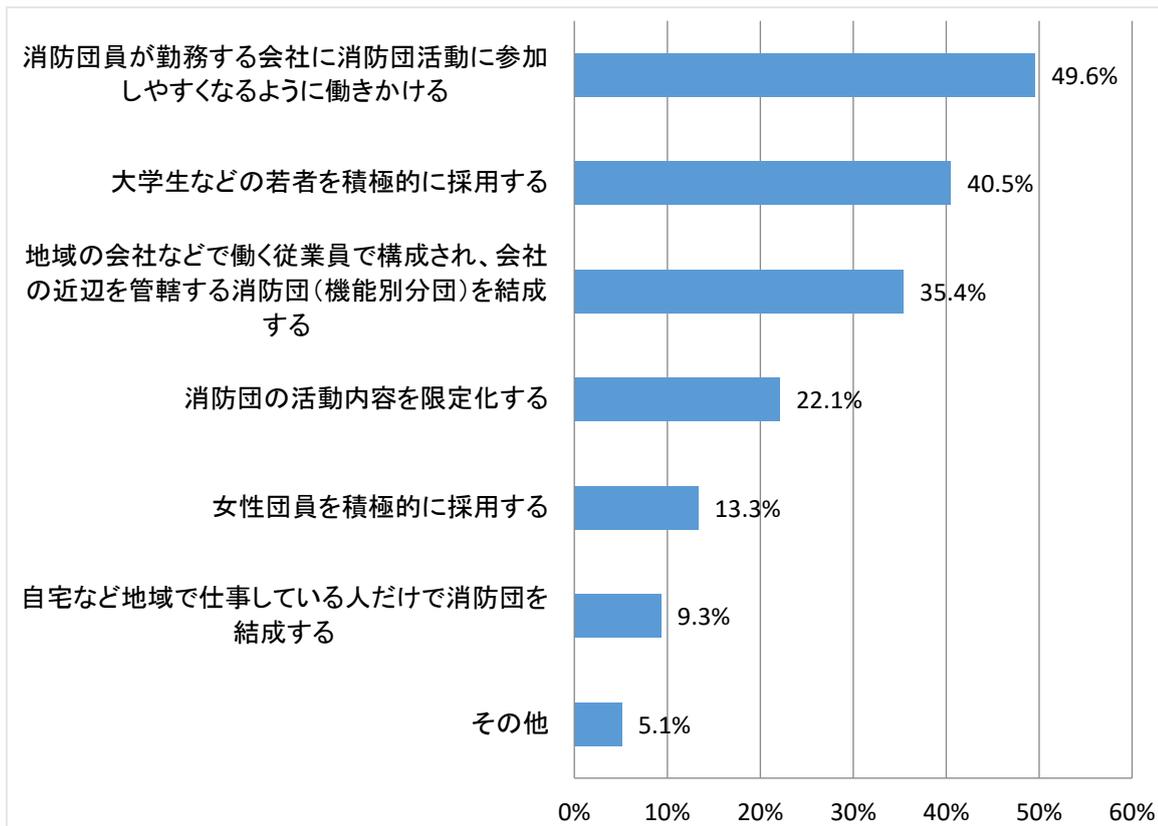
〔問16〕 女性の方にお聞きします。あなたが消防団員になるなら、どのような活動を行いたいですか。当てはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 209	
	回答者数	構成比
応急救護、情報収集等の後方支援活動	103	49.3%
災害時の避難所運営	75	35.9%
独居老人宅などの防火・防災訪問	63	30.1%
心肺蘇生法や応急手当等の指導	47	22.5%
街頭や巡回による防火・防災広報	36	17.2%
火災の初期消火活動	22	10.5%
防火・防災訓練の指導	20	9.6%



〔問17〕 最近では消防団員の多くがサラリーマンであり、災害時の迅速な出動が難しくなっています。今後消防団を充実させるにはどうすればよいと思いますか。当てはまるものを2つまで選んでください。

回答者数		353
選択肢	回答者数	構成比
消防団員が勤務する会社に消防団活動に参加しやすくなるように働きかける	175	49.6%
大学生などの若者を積極的に採用する	143	40.5%
地域の会社などで働く従業員で構成され、会社の近辺を管轄する消防団(機能別分団)を結成する	125	35.4%
消防団の活動内容を限定化する	78	22.1%
女性団員を積極的に採用する	47	13.3%
自宅など地域で仕事している人だけで消防団を結成する	33	9.3%
その他	18	5.1%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。